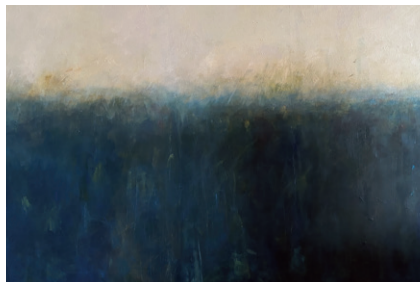


岐阜市芸術文化奨励賞 創設30周年記念展

平成8年より岐阜市の芸術・文化の振興に期待できる個人、団体に対し授与されてきた「岐阜市芸術文化奨励賞」の創設30周年を記念して展覧会を開催いたします。
本賞は、創設以来、美術部門、舞台芸術部門、文芸部門の中から数多くの個人、団体が受賞しその功績が称えられてきました。
今回は令和4年度から令和7年度までの美術部門で受賞された作家を中心に紹介します。



青い海

(令和4年度)

張間 成子(はりま せいこ) [美術・洋画]

1965年、韓国釜山生まれ。東釜山大学を卒業後、岐阜大学へ留学する。
2013年～14年、アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン(米国・カリフォルニア)で油彩画を学ぶ。
名古屋芸術大学美術学部へ編入後、英国ブライトン大学Art&Designへ短期交換留学。2021年、ブライトン大学大学院MFA修了。
2020年、極小美術館(池田町)、Jubilee Library Foyer Gallery(英国・ブライトン)、加藤栄三・東一記念美術館(岐阜市)にて個展を開催。
2023年、XIVフレント・ビエンナーレ2023(イタリア)
2024年、AROUND REME 国際展(Arte Borgo Gallery イタリア)、2024 Woman In Art Biennale London England (Chelsea Old Town Hall Artio Gallery主催)の参加。
2024年、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、マスター・オブ・リサーチ(ロンドン)修了。現在、ロサンゼルス、ロンドンなどを中心に活躍中。



岐阜において

(令和5年度)

岐阜新文化会(ぎふしんぶんかかい) [美術・イラスト]

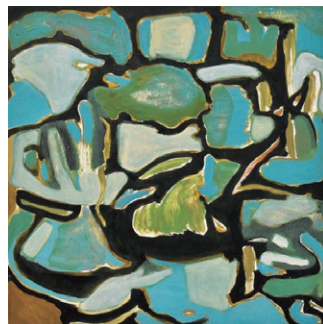
2020年3月に、従前、グループ展を開催してきたメンバーの中から、岐阜市内でイラストによる地域活性化を目的とした「岐阜新文化会」を結成する。イラストレーター自ら企画・運営を行い、県内各地域をテーマとした作品展や物産品のイラスト制作など、活動地域や内容に広がりを見せている。
2020年、「岐阜新文化展がくる」(加藤栄三・東一記念美術館)、2020～23年、「ときめくり展」(本巣市/美術の森)、2020年、「岐阜がくる」(大阪府/なんばマルイ)、2020～23年、「岐阜イラストアート展」(マース21)、2021年、「七宗新文化展」(七宗町/日本最古の石物館)、2022年、「岐阜新文化会イラスト展」(山県市/古田紹欽記念館)、2022～23年、「美濃市ビジュアルアート展」(美濃市)、同年「郡上明宝イラストアート展」(郡上市)、2023年、「岐阜新文化展がくるReturn」(加藤栄三・東一記念美術館)、2025年、「岐阜新文化会 夢見るイラストアート展」(岐阜市/岐阜信用金庫 G's Dream)等、多数開催。
現在、岐阜市を中心に県内各所において活動を展開中。
岐阜市立草淵中学校の産学ブースの講師をつとめる。

(令和7年度)

矢橋 頌太郎(やばし しょうたろう) [美術・洋画]



1989年、岐阜県生まれ。
2011年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科を卒業。2015年、「トリエンナーレ2015神通峡美術展」(富山県)にて優秀賞を受賞。2019年、「アートハウスおやべ 現代造形展2019」(小矢部市美術館)にて入選。2021年、「清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ」(清須市はるひ美術館)にて入選など、高い評価を得る。
これまで極小美術館(池田町)でのグループ展等、多数参加。
「ファン・ゴッホと日本近現代アート展」(名古屋画廊)に出展。同画廊において2018年、2021年、2026年に個展を開催。
2025年、「矢橋頌太郎展」(加藤栄三・東一記念美術館)を開催。
現在、岐阜市美術展洋画部門審査員(2019年～)。
ぎふ美術展洋画部門企画委員(2024年～)。



軸

(令和6年度)

市川 あずさ(いちかわ あずさ) [美術・洋画]

1993年、岐阜市生まれ。2018年、名古屋芸術大学大学院洋画制作研究で修士号を取得。同年、「清流の国ぎふ芸術祭 第1回ぎふ美術展」洋画部門で「ぎふ美術展賞」を受賞。
2020年、岐阜市初の個展「市川あずさ展」(ぎふチャンアートギャラリー)を開催し、本格的な作家活動を開始。
2021年、個展「はかりごと」(岐阜市/ギャラリーいまじん)を開催。
2023年、「第28回TYK絵画大賞・優秀絵画展」で大賞を受賞するなど高い評価を得る。
2024年、「ギャラリーいまじん15周年記念企画展—アーティストが推奨アーティスト展—」(みんなの森ぎふメディアコスモス)、個展「空気をたたく」(岐阜市/ギャラリーいまじん)を開催。
2025年、「岐阜市芸術文化奨励賞令和6年度受賞者G's Dream作品展」(岐阜市/岐阜信用金庫G's Dream)を開催。
現在、岐阜市内の共同アトリエを拠点とし、制作活動を行っている。

(令和7年度)

村上 典子(むらかみ のりこ) [美術・インスタレーション]



1962年、愛知県生まれ。
1984年、名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画を卒業。その後、美濃市藤生の手漉き和紙職人の工房で美濃和紙が出来るまでの工程を学ぶ。手漉き美濃和紙の「内」に秘めた美しさ」と「強さ」を生かした制作活動を続ける。
2000年～源流展(岐阜県美術館)をはじめ、2024年、「ギャラリーいまじん15周年記念企画展」(みんなの森ぎふメディアコスモス)、2025年、「糸布if展」(一宮市三岸節子記念美術館)において、大規模のインスタレーションを展開。
2025年、「新海博・村上典子 二人展」(加藤栄三・東一記念美術館)を開催し、高い評価を得る。
2012年、2016年、2021年、2025年にギャラリーいまじん、2023年、UTOPIAN珈琲ハウスゆうとび庵など、個展も精力的に開催。
現在、岐阜市歴史博物館「夏の子ども教室」講師(2019年～)、岐阜市歴史博物館協議会委員(2025年～)。



嬉々花鳥図

(令和4年度)

福本 百恵(ふくもと ももえ) [美術・日本画]

1984年、香川県生まれ。2008年、名古屋芸術大学大学院日本画研究科修了。2005年、日展1科<日本画部門>に初入選(以後毎年出品)
2021年に日展名古屋巡回展にて中日賞、2022年に特選受賞。
2006年、日春展(現在は新日春展)に初入選(以後毎年出品)、2018年に奨励賞、2019年に新日春賞を受賞。
2018年、前田青邨記念大賞展にて優秀賞、臥龍桜日本画大賞展にて奨励賞、2021年、「日本画の可能性 若手作家からの提言」(名古屋市・古川美術館)にてCBC賞を受賞。
清流の国ぎふ芸術祭 アートラボぎふ日本画講座で講師を務める(2018年～2022年)。全国各地の画廊・ギャラリーにて個展・グループ展を開催・参加。
現在、日展会友、日春展準会員、名古屋芸術大学非常勤講師。



(令和5年度)

田島 聖子(たじま きよこ)

[舞台芸術・声楽]

記念オープニングコンサート

岐阜県生まれ。国立音楽大学声楽科卒業。ザルツブルクモーツァルテウム音楽大学ウィーンシュペルトインスティテュートへ留学。留学時にエリ・アメリングなどからドイツリート演奏解釈の手ほどきを受ける。
県内外での定期的なドイツリートリサイタル開催の他、「清流の国ぎふ」文化祭2024プレイイベント「三百人の第九コンサート」でのアルトソリスト、創作オペラ「花子」でのフラー役など、出演多数。また、サラマンカホール主催公演「星降る夜のミュージカルパーティー」、関ヶ原ナイト2023野外朗読音楽絵巻「関ヶ原の記憶」への出演で、幅広い世代に音楽の楽しさを届けている。
現在、岐阜県芸術文化会議理事、日本ドイツリート協会会員。
名古屋芸術大学、中部学院大学短期大学部、岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師。

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

交通案内

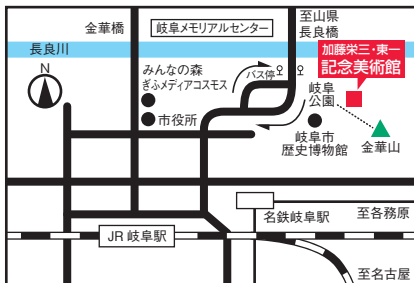
JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きのバスにご乗車ください。
「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分)
徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ山麓駅横)

駐車場

岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。
駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページ



貴方も友の会会員になってみませんか!

岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館

友の会 会員募集

—文化の時代 心に潤いと豊かさを—

特典

- 会報の配布、各種催しものの案内が受けられます。
- 展覧会などの催しものが無料でご覧いただける場合がございます。
- 会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。